

「やさしい日本語」普及促進事業の公募型プロポーザルに係る質問への回答

R6.5.23掲載

番号	質問項目	内容	回答
1	実施要領 4(5)オ	お見積りについて、「内訳表の作成に当たっては、研修費及びその他事業費に区分の上、人件費、社会保険料、交通費、報償費、消耗品費、通信費、使用料・賃借料等に区分」とありますが、必ずこの項目に区分しての算出が必要でしょうか。当社独自の項目区分で提出することは可能ですか。	積算内訳書から、研修費とその他事業費のほか、経費算定の内容を確認することが可能であれば、貴社独自の項目区分で作成いただいても差し支えありません。
2	仕様書 4(1)(ア)	オンラインによる講座について過去同様の事業が実施されている場合は過去3年の開催時間。何時間程度、1日もしくは2日に分けて実施かをご教示ください。	本事業と同様の事業は過去に実施しておりません。開催時間等は仕様書(案)記載のとおりです。
3	仕様書 4(1)(イ)	普及サポーターへの参加者の目標人数についてご教示ください。	県内全63市町村を対象として、各1名以上の普及サポーターを養成することを想定しています。
4	仕様書 4(1)(ウ)	「講座参加者の取りまとめ及び出欠確認」について、具体的な業務内容をお聞かせください。たとえば、以下の業務分担を想定しておりますが、いかがでしょうか。 ○埼玉県：参加者募集、参加者受付、参加者名簿作成 ○受託事業者：参加者への会議URL連絡(参加者メールアドレスを共有いただける場合)、参加者サポート、当日の入室許可、出欠状況の把握・埼玉県への報告	仕様書(案)記載のとおり、県は参加者の募集及び受付を行います。受託事業者の主な業務は以下を想定しています。 ・参加者名簿の作成 ・事前の連絡・サポート(会議URL送付を含む) ・当日の対応(入室許可、出欠確認、県への報告等)
5	仕様書 4(1)(キ)	アンケートについて実施方法について具体的な制限はあるかご教示ください。	具体的な制限は設けておりません。ただし、オンライン講座の性質を生かした実施方法を想定しています。
6	仕様書 4(3)	具体的な提供方法については協議の上決定とのことですが、Excel等による事例情報の共有という想定でよろしいでしょうか。また件数のご想定があればお聞かせください。	電子データによる提供を想定しており、例えば、冊子での事例集作成は想定しておりません。件数は参加者による提案とします。